

# トマトを中心とする農業の隆盛

## 戦後の一宮



戦後の一宮の経済的發展を支えたのは、近代化された農業でした。一宮の農業については、江戸時代の一宮藩の農政がすぐれたものであったと伝えられますが、明治になって、旧藩主であった加納久宜町長の指揮下で大きく発展しました。

加納久宜公は、青年の研修道場ともいべき三会堂を設置し、農場を整備して果樹・蔬菜の栽培、養鶏・養豚の指導研究を行わせました。この一連の努力は、戦後、果樹・蔬菜の栽培で一宮が県下で最も進んでいると評価される基礎となりました。

また、米作では「正条植」や「おだげ」の奨励を行ったといわれています。加納公は、明治45年の町長就任以前においても、明治40年には一宮町信用組合を創立し、組合員に対する資金提供を図っています。これは戦後の農協の源流となりました。また、耕地整理組合長に就任し、反対論を抑えて一宮表耕地における大規模な耕地整理の実現に寄与したと

れます。

戦後、農業関係制度の根本的改革が行われたあと、一宮町では、蔬菜生産の躍進が著しくみられて、県下有数の主産地となりました。昭和29年（1954）以降、蔬菜栽培の研究が鋭意行われましたが、その主軸はトマトでした。昭和38年（1963）の段階で、米の生産額を上回る売り上げがあったといい、トマトの早出し栽培だけで一宮農協は6500万

町長が語る  
一宮の歴史



円、東浪見農協は3500万円と、1億円を突破しています。当時の一宮町における商店の初任給は、1万円前後でした。また、昭和37年（1962）の一宮町の一般会計予算は、総額で1億2千万円あまりでした。この頃のトマト栽培が巨額な経済力をもっていたことがわかります。1962年には、販売を行う農家数は814戸ありました。販売金額が20万円から30万円の農家が212戸、30万円から50万円が210戸、50万円から70万円が78戸あるとされています。70万円から100万円の間は7戸、100万円以上も2戸あると報告されています。栽培施設としては、鉄骨ビニールハウスの栽培面積が一宮農協36700坪、東浪見農協20000坪ありました。一宮のトマトは、東京の青果市場における高い地位を享受していたことが伝えられています。なお、現在普遍的にみられる段ボール箱による野菜の出荷を始めて導入したのも、一宮のトマト農家であったといえます。

現在では、一宮の農業はかつてに比べると、残念ながらパワー不足の感があります。一宮の農業は、昔日の輝かしい歴史を踏まえて、基幹産業としてのポジションを再構成する必要があります。

### 一宮町の歴史（1971年～2017年）

- 1971年（昭和46年）一宮中学校新校舎竣工／長生郡市広域町村圏組合を設立／公社電話自動化施設完成／用途区域の決定
- 1972年（昭和47年）中央公民館竣工／全町上水道完成／国鉄外房線電化工事完成／東浪見小学校新校舎竣工
- 1973年（昭和48年）合併20周年記念式典挙行／下村施設園芸モデル園地完成
- 1974年（昭和49年）東浪見保育所新園舎完成
- 1975年（昭和50年）老人福祉センター完成／国勢調査 人口10095人 世帯数2464世帯／第1回上総国一宮まつり
- 1976年（昭和51年）東部土地改良黒宮ほ場整備事業始まる／宮原排水工事完成
- 1977年（昭和52年）町営野球場完成／上総おどり始まる／燈籠流し復活
- 1978年（昭和53年）一宮小学校新校舎完成／県立長生養護学校、一宮町へ移転完了／東浪見中部施設園芸園地完成
- 1980年（昭和55年）一宮保育所新園舎完成／憩いの森完成／日本一の省エネルギー温泉園地完成／東浪見海水浴場新設／国鉄横須賀線（宮ノ久里浜間）直通運転開始／一宮号運転開始／国勢調査 人口10486人 世帯数2724世帯
- 1981年（昭和56年）臨海運動公園完成
- 1982年（昭和57年）山梨一宮町と友好町締結／あらい橋完成
- 1983年（昭和58年）新地地区温室園地建設／梨のハウス栽培開始／振武館完成／合併30周年記念事業
- 1984年（昭和59年）商工会館建設／東浪見北部温室園地建設
- 1985年（昭和60年）防災行政無線開設／GSSセンター1完成／6都市合同防災訓練、一宮町で開催／国勢調査 人口10997人 世帯数2959世帯
- 1986年（昭和61年）網田路線橋完成／網田地区ライオンセンター完成 駅前観光物産直売所・観光案内所開設
- 1987年（昭和62年）原保育所移転工事完成／都市下水道事業着手 千葉県東方沖地農発生
- 1988年（昭和63年）町をきれいにする課発足／町づくり研究会発足 本給東浪見、区画整理事業認可着手
- 1989年（昭和64年）町の花「山ゆり」選定／一宮町環境美化推進町民大会開催し、環境美化宣言／舞台地区の区画整理事業認可着手 山ゆりの球根配布
- 1990年（平成2年）町制10周年記念事業／農業集落排水事業原地区処理場完成／一宮町民憲章制定／幼児広場完成／国勢調査 人口11135人 世帯数3181世帯／京葉線全線開通
- 1991年（平成3年）一宮川等流域環境保全推進協議会発足／献血推進地区モデル事業 法律相談開始／ホームタウン特急開設
- 1992年（平成4年）本給土地区画整理事業完了／一宮スポーツ財団設立／トマト館完成 中央ポンプ場建設工事完成／一宮小学校120周年記念式典／一宮町総合計画策定 第一次実施計画
- 1993年（平成5年）津波避難訓練／東浪見小学校120周年記念式典 稲作不作／都市下水道通水式／土曜閉庁／黒宮住宅（船頭給地区）着手（79年）／公民館図書室分室商工会館に設置／ロマンロード着手（8年）
- 1994年（平成6年）都市マスタープラン策定／老人福祉計画策定／一宮中学校改築着手（77年）／各集会所にビデオ感應テレビを設置／おはようわかしお号運転開始
- 1995年（平成7年）国勢調査 人口11302人 世帯数3433世帯／第2次実施計画／非核平和都市宣言／一宮町合併40周年、終戦50周年記念事業として、ひるの歌謡曲公開録音・放送／中ノ橋架け替え工事完成／農村自然環境整備推進上総地区事業採択／模擬議会開催／一宮川流域治水環境対策協議会設置／国民健康保険 脳ドック開始／台風12号 一宮町に大きな被害／JMAクレーンショー完成
- 1996年（平成8年）台風17号 一宮町に大きな被害 一宮川激甚災害対策特別緊急事業採択「農業集落排水事業東浪見クリーンプロジェクト完成」／特別養護老人ホーム 宮発、ケアハウス桶の木ホーム開設／海外ホームステイ実施 保健センター開設／玉前神社社殿と棟札 県指定有形文化財に指定
- 1997年（平成9年）機構改革で河川対策課を設置 水害対策事業を重点施策に位置付ける／天道路線橋 県営住宅（船頭給地区）完成／特別養護老人ホーム 宮発でデイサービスセンター、居宅介護支援事業所開所 一宮スタンプ会 ポイントカードを実施
- 1998年（平成10年）海岸車両乗り入れ規制 残土条例施行 一宮号購入／町長への手紙実施 水害対策事業完成
- 1999年（平成11年）保健センター建設（12年）／一宮川「ふるふ」の川整備事業に指定
- 2000年（平成12年）電話予約で、休日の証明を交付／河川改修事業着手／商工会と一宮スタンプ会 プレミアム付き商品券発売 地下水汚染除去／シルバー人材センタースタート／国勢調査 人口11648人 世帯数3752世帯／増田明美さんを講師に、健康まつりを開催 東浪見小学校 全国保健体育優良校表彰／農業集落排水事業北部地区（15年）
- 2001年（平成13年）「芥川」が国登録有形文化財に登録「桃太郎おたすけ隊」結成 霧降連くん、白大三高等 全国高校野球選手権大会優勝 小倉全由大三校野球部監督を迎え教育講演会開催 一宮保育所全国大会で研究発表 ホームページを再構築 松ヶ川ネイチャークラブ結成
- 2002年（平成14年）一宮町土木専門委員会解散 一宮観光いちご組設立／通院介助事業「こころ」に改称し充実
- 2003年（平成15年）一宮海岸の浜渾の状況 堂本知事視察 合併問題について 住民説明会開催 合併重点支援地域に指定される
- 2003年（平成15年）浜渾対策 着手／台風により海洋護岸に被害 長生郡市合併協議会設置 東浪見青年研究所跡地に集会所建設 防災行政無線視覚改造 浜渾のためはだしてまてこうり計画懇談会設置 創作の甲建設 上総十二祭り、県指定無形民俗文化財に指定 観明寺十一面観音立像 県指定有形文化財に指定
- 2007年（平成19年）長生郡市合併協議会（再）設置
- 2008年（平成20年）長生郡市合併協議会廃止
- 2011年（平成23年）東日本大震災
- 2012年（平成24年）東野が大学になる
- 2014年（平成26年）一宮町役場新庁舎完成
- 2016年（平成28年）二〇二〇東京オリンピックのサーフィン会場に「一宮町ヶ崎海岸」が決定 東浪見保育所開所
- 2017年（平成29年）旧秋塚家 旧宮藤家 高原家が国登録有形文化財に登録 一宮保育所開所 原保育所 いちのみや保育所に名称変更